

ふなばしタウンレポート

このレポートは、幅広く市民の皆さまの声をお聞きし、市政に反映するために、令和3年9月に実施した「船橋市市民意識調査」の主な結果をとりまとめたものです。

船橋市では、魅力あるまちづくりをめざし、市民の皆さまと一緒に今後の施策を展開してまいりたいと考えております。

<「船橋市市民意識調査」の概要>

- (1) 調査対象 船橋市在住の満18歳以上の男女3,000人
- (2) 標本抽出 住民基本台帳から性別、年齢、地域などを考慮して無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送法（郵送配布－郵送回収）
- (4) 調査期間 令和3年9月10日（金）～9月30日（木）
- (5) 有効回収数 1,485人（49.5%）

- ◆集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- ◆（n）は、基数となるべき実数であり、設問に対する回答者数である。
- ◆回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- ◆本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

回答者のプロフィール

(1) 性別

	基数	構成比 (%)
1. 男性	596	40.1
2. 女性	838	56.4
(無回答)	51	3.4
合計	1,485	100.0

(2) 年齢

	基数	構成比 (%)
1. 18～29歳	152	10.2
2. 30～39歳	197	13.3
3. 40～49歳	303	20.4
4. 50～59歳	274	18.5
5. 60歳以上	506	34.1
(無回答)	53	3.6
合計	1,485	100.0

(3) 居住地区

	基数	構成比 (%)
1. 南部地区	270	18.2
2. 西部地区	360	24.2
3. 中部地区	179	12.1
4. 東部地区	385	25.9
5. 北部地区	234	15.8
(無回答)	57	3.8
合計	1,485	100.0

船橋市 市長公室 市民の声を聞く課

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25 ☎ 047 (436) 2784

ホームページ <https://www.city.funabashi.lg.jp/>

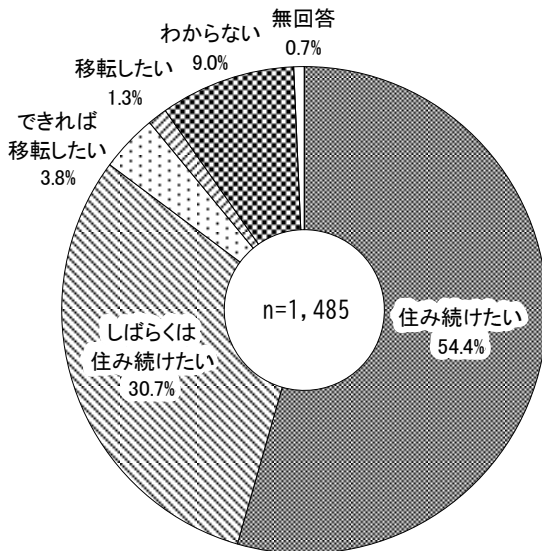
メールアドレス shiminokoe@city.funabashi.lg.jp

令和4年2月

1 住みごころについて

(1) 船橋市への定住意向

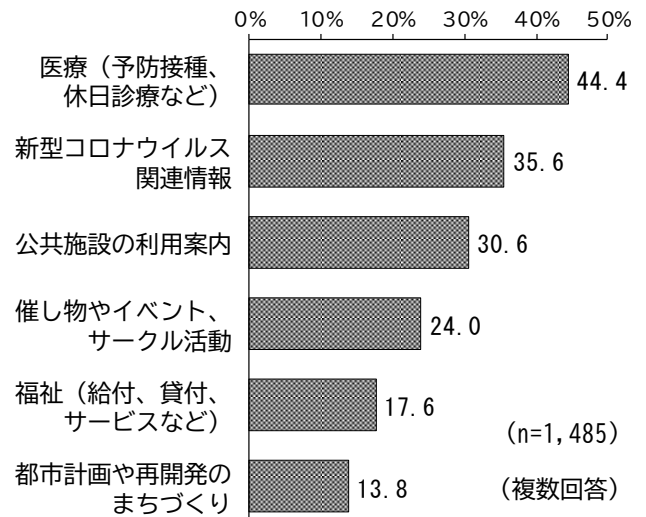
◇「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた割合は、8割を超えている



2 広報活動について

(1) 広報紙やホームページで知りたい情報

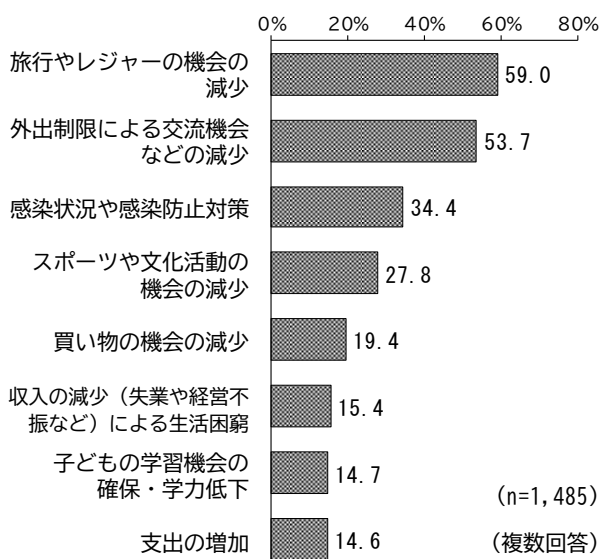
◇「医療（予防接種、休日診療など）」の割合が最も高く、4割を超えている



3 新型コロナウイルス感染症の影響について

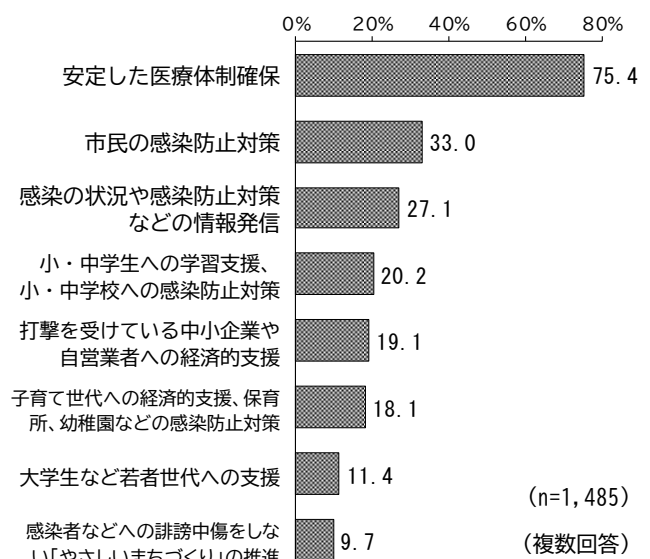
(1) コロナ禍により困っていること・心配と感じていること

◇「旅行やレジャーの機会の減少」が6割弱となっている



(2) 重点的に実施してほしい施策

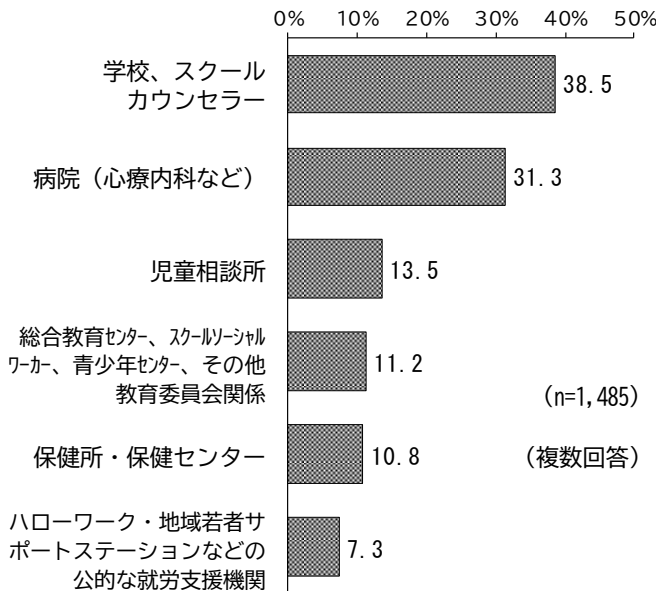
◇「安定した医療体制確保」が7割を超えている



4 ひきこもりについて

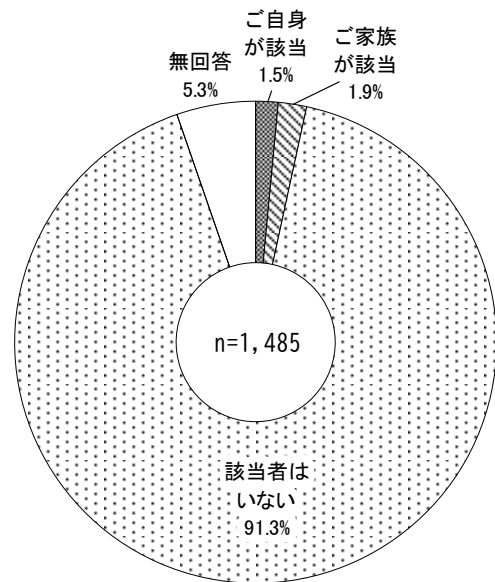
(1) ひきこもりの相談先として認知している機関

◇「学校、スクールカウンセラー」の割合が最も高く、4割弱となっている



(2) 家族を含むひきこもり状態

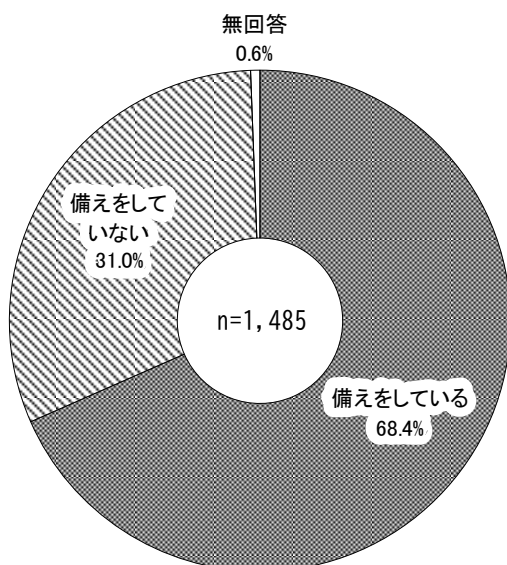
◇自分と家族を合わせたひきこもり状態の割合は、約3%となっている



5 本市の災害対策について

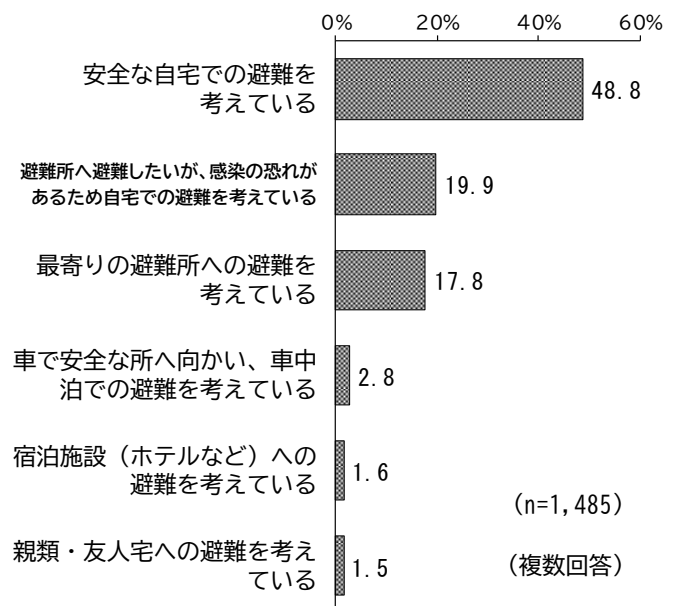
(1) 日頃からの備え

◇日頃から災害への「備えをしている」割合は、7割弱となっている



(2) コロナ禍における災害時の避難

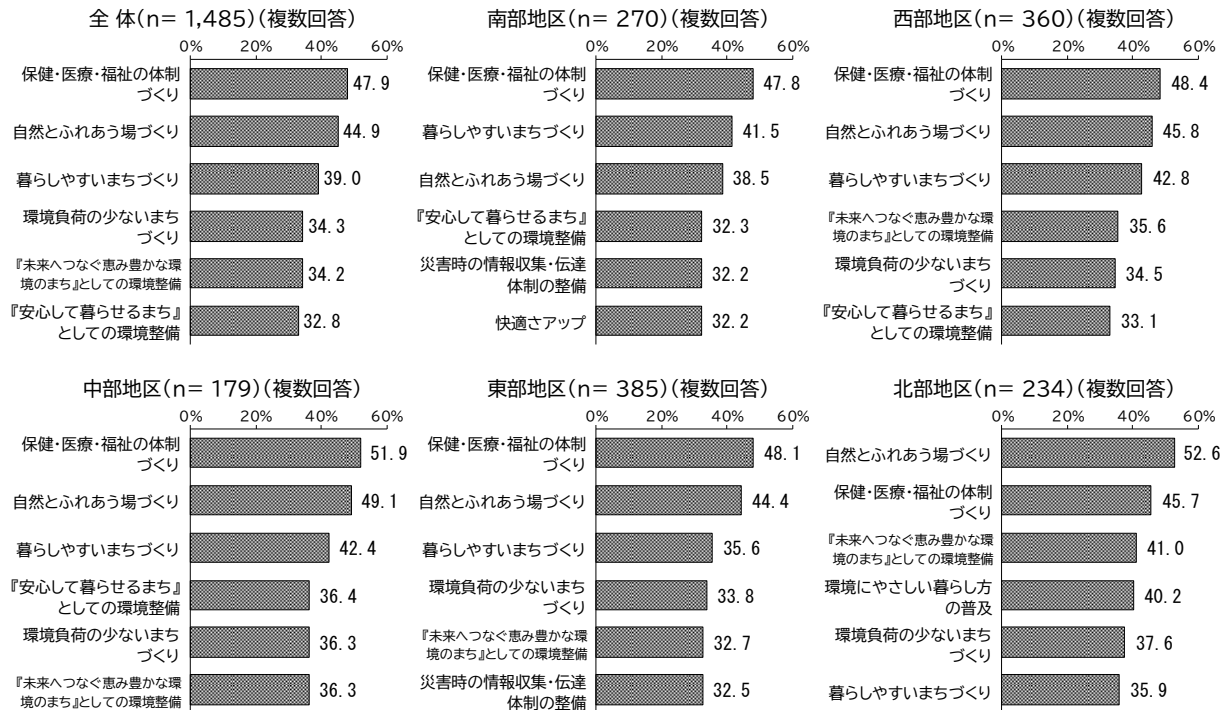
◇「安全な自宅での避難を考えている」の割合が最も高く、5割弱となっている



6 めざすまちの姿について

(1) 「めざすまちの姿」の実現状況（上位6項目）

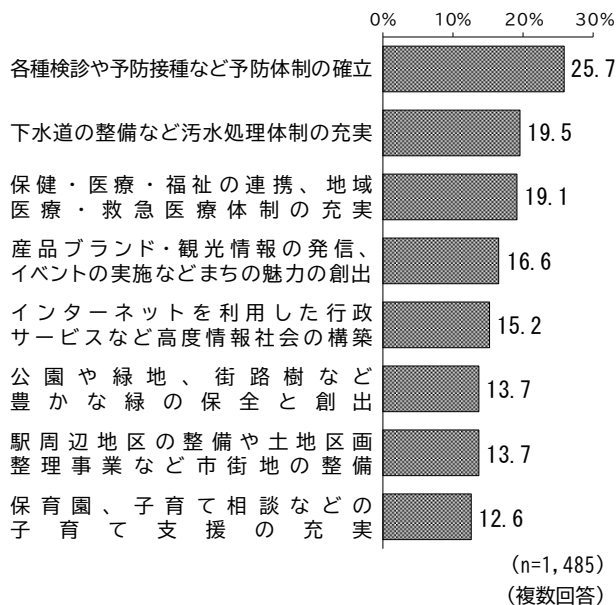
◇「できている」と「まあまあできている」を合わせた割合は「保健・医療・福祉の体制づくり」が北部地区以外のすべての地区で1位



7 市の施策について

(1) ここ数年でよくなったもの（上位8項目）

◇「予防体制の確立」が最も高く、2割を超えている



(2) 力を入れるべきもの（上位8項目）

◇「幹線、生活道路の整備」が最も高く、5割弱になる

